

# 好きです！奄美農業

編集・発行 大島支庁農林水産部農政普及課

経営普及係・技術普及係 奄美市名瀬永田町17-3 (0997)57-7274

瀬戸内町駐在 瀬戸内町古仁屋船津36 (0997)72-0184

喜界町駐在 喜界町赤連2901-14 (0997)65-3019

<http://www.pref.kagoshima.jp/aa02/chiiki/oshima/sangyo/nougyou/index.html>

## 大島地区青年農業者会議を開催

令和3年12月10日に、奄美市農業研究センターで、生産者・関係機関約40名が出席し、大島地区青年農業者会議が開催されました。

3名の青年農業者が、自らの農業体験に基づく意見発表や課題解決のために取り組んでいるプロジェクト活動の発表・経過報告を行い、先輩である指導農業士や他の青年農業者からの助言や活発な意見交換が行われました。

これからも、所得確保のために、コスト意識を持ったプロジェクトの取り組みが必要であり、奄美を担う青年農業者の今後の積極的なプロジェクト活動に期待します。



地区青年会議の開催風景

### 【発表内容】

○意見発表

「就農のきっかけや将来の夢」  
岩田聡さん（奄美市）

○プロジェクト活動発表

「バジル栽培における陽熱消毒技術の確立」  
飯田圭太郎さん（龍郷町）

○プロジェクト活動途中経過報告

「津之輝の早期成園化の取り組み」  
広野裕介さん（瀬戸内町）



プロジェクト活動発表（飯田さん）

会終了後、屋外でスマート農業の活用事例として、地域の果樹農家で導入されている自動無人草刈機の実演が行われ、農政普及課から機械の性能や効果、導入に当たっての考え方等を説明しました。

今後、規模拡大を目指す青年農業者にとっては、作業の省力化は非常に重要であり、スマート農業への理解が大いに深まりました。



自動無人草刈機の実演

# 畜産現場で利用されるICT機器の紹介

ICTとは、

- I nformation (情報)
- C ommunication (通信)
- T echnology (技術)

→ 情報や通信に関する技術の総称です。

例えば、



情報



携帯電話やパソコンで牧場の情報を管理できます

## 畜産現場で活躍するICT機器



分娩管理

出産の近い母牛の分娩兆候をメールで教えてくれるため、分娩事故を防止し、牛舎を離れるときに安心。



個体・発情管理

首につけたセンサーで活動量をデータ化。一頭一頭の繁殖情報等の管理がPCや携帯で可能。

～奄美大島・喜界島のICT機器導入農家へ、アンケート調査を実施しました～

### 【調査結果】

ICT機器を導入した目的は、

- 1位 分娩事故防止
- 2位 個体管理
- 3位 経営改善

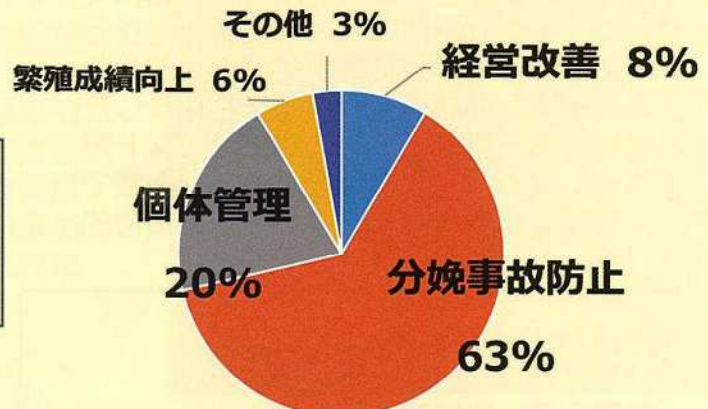


図1 ICT機器導入の目的

目的の達成度は？

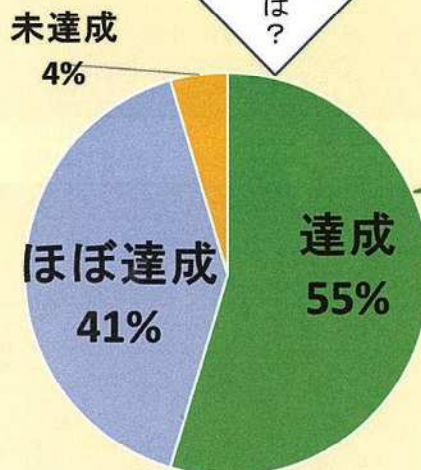


図2 導入した目的の達成度

ICT機器を導入した農家の9割以上が、導入目的を達成したと回答しています

ICT技術を活用することで、

- ・分娩事故の防止
- ・平均分娩間隔の短縮
- ・受胎率の向上

などが期待されます

ICT技術を活用して、農場の経営に役立てましょう！！

## パッションフルーツ生育不良対策の実証

大島南部の主要果樹「パッションフルーツ」は、後継者・Uターン者等の就農研修施設の研修品目と位置づけられ、夏季の所得を上げる重要な品目として面積が拡大しています。しかし、近年一部ほ場で生育不良が発生し収量が思うように上がらない事例が散見されはじめました。

そこで、農政普及課では、生育不良に対する要因解析と対策に取り組みました。

### 生育不良の症状と要因解析

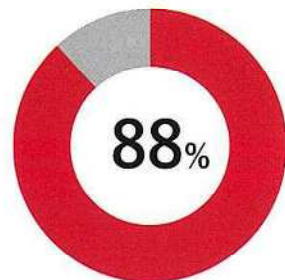
生育不良の症状は、排水不良の園で多く、植付後の新梢伸長鈍化、葉の白化、奇形等様々な症状が現れます。

発生ほ場の数年分の土壌診断結果を分析しました。栽培年数が経過するに伴い、pHが基準値上限の6.0を超え、肥料成分が集積したほ場で発生が多いことがわかりました。

このため、ハウス内に塩類が集積しない対策と集積した後の対策が必要です。



伸長の鈍化



基準値上限(pH6.0)を超えるほ場の割合

### 事前対策と事後対策

事前対策として排水不良対策を行いました。具体的にはプラソイラを用いて耕盤を破碎し、水が地下浸透するようにしました。

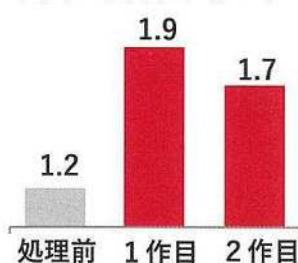
また、事後対策として土壌改良資材（ピートモス）を施用して、pHの低下と物理性の改善を行いました。

結果、pHの低下とともに実証ほ場で収量増加が見られました。



プラソイラ

収量の変化  
実証区の換算収量 (t/10a)



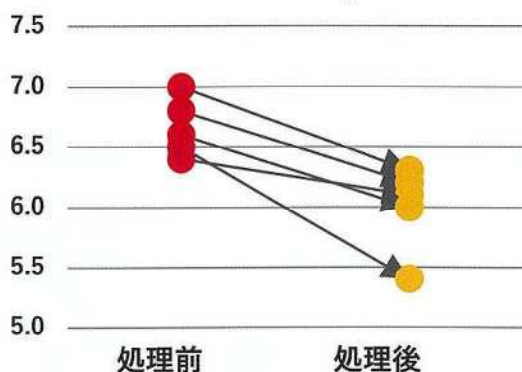
### 土壌改良資材の普及状況とpHの変化

生育不良対策をテーマにした研修会を行った結果、生育不良が発生した瀬戸内町内の8ほ場で取り組みが始まりました。

取り組み園のpHはいずれも低下し（右図）、塩類集積は改善され生育も良好です。

取り組むに当たっては、土壌分析を毎年行い自らのほ場の現状をしっかりと把握することが大切です。診断結果に基づき、生育不良の原因がpHならば土壌改良資材の施用で改善すると思われます。

生育不良対策園のpH変化



農政普及課では依然として続くコロナ禍の情勢に十分配慮しつつ、地域の課題をとらえて、関係機関・団体と連携を図りながらさまざまな形で、支援を行っていきます。

## 奄美大島・喜界島認定農業者等研修会を開催

11月17日に奄美観光ホテルで経営者クラブ大島支部等の主催による「奄美大島・喜界島認定農業者等研修会」が開催され、約40名が参加しました。内容は、かごしま農業経営相談所スペシャリスト（税理士）による「**経営継承の方法や関連する税務等**」に関する講演と、国の農業労働力確保緊急支援事業を活用して要請した講師による「**女性や多様な人材が働きやすい環境整備**」に関する講演で、専門的な情報や具体的な事例の紹介など、参加農家の経営改善に大いに参考になるものでした。



## 瀬戸内町の数原さんが農山漁村女性活動功労者を受賞

鹿児島県が主催する令和3年度農山漁村女性活動功労者表彰において、瀬戸内町の数原菊美さんが受賞され、11月17日にかごしま県民交流センターで表彰式が行われました。

数原さんは、瀬戸内町や奄美地区の生活研究グループの会長として、食育や地産地消の推進など地域活性化に尽力されたことや、農業委員として農地の有効活用に取り組み、地域農業の維持・発展に貢献されたことなどが評価されました。



表彰を受ける数原さん

## 喜界町 令和2～3年度の新規就農者へ記念品贈呈！

9月13日に予定していた「喜界町新規就農者励ましの会」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、後日、6名の新規就農者を個別訪問し、記念品を贈呈しました。今後も指導農業士や先輩農業者、関係機関と連携し、皆さんの経営発展を支援していきます。



佐藤寿樹さん  
(さとうきび)



外内勝さん  
(かぼちゃ)



福島風さん  
(かぼちゃ)



宮本一徹さん  
(かぼちゃ、  
パッションフルーツ)



高橋直樹さん  
(かぼちゃ、  
パッションフルーツ)



園田裕二郎さん  
(かぼちゃ、  
パッションフルーツ)